

# キャリアラダーレベルV教育計画

2019年度

研修名	看護の核となる実践能力	勤労者看護	組織的役割遂行能力	自己教育・研究能力
ねらい (目的)	より複雑な状況において、ケアの受け手にとって最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する	勤労者看護の推進役としての役割を果たす	部署を超え、看護部や病院から求められる役割を遂行する	単独で専門領域や高度な看護技術等について自己の教育活動を展開する 主となり研究活動を実践する
目標	1. ケアの受け手や状況(場)の関連や意味を踏まえニーズをとらえる 2. 最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する 3. ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種力を引き出し連携に活かす 4. 複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる	1. 勤労者を取り巻く人々と連携しながら勤労者看護を推進できる	1. 看護部・部署の目標達成のため、推進役として積極的に行動する	1. 主体的に自己のキャリア開発に取り組み、あるべき姿を目指す
eラーニング	○働き方改革を踏まえた労務管理の基礎知識			○キャリアデザインとキャリア開発
集合研修		○勤労者看護		
院外研修	○県看護協会・日本看護協会(ラダーレベルV相当)研修 ○学会参加			□学会出席または 研究発表
提出物	□多職種との倫理検討事例 □ケースレポート □デスカンファレンス事例	□勤労者看護の推進役としての 活動報告レポート		□看護研究論文
担当役割			○チームリーダー・サブリーダー ○看護部委員会委員 ○院内委員会委員 ○院外(看護協会等)の役割	

□ 必須    ○ 任意